



地域資源とファームシステムに関する研究

生命環境学部 生命科学科

准教授 村田 和賀代 (むらた わかよ)

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 2607号室
Tel Fax
E-mail murataw@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 農業経済学, 農業史

キーワード： 農業発達史, ファームシステム, 地域開発

● 主な取り組み・活動

○ 歴史的な視点から、農業の生産技術の発達と普及、集落の仕組みを分析します。

農業は地域に密着した産業です。気候や地勢、土壌の性質など、地域ごとに制約される条件が異なります。現在、目にする農村の景観も、過去の変化と積み重ねによるものです。現代の農業がどのようにして形作られてきたのかを明らかにすることは、地域に残されている資源の再発見につながります。

また、制度や社会のありかたも農業の生産方式と強く結びついています。制度や経済の変化が農業生産方式をどのように変化させ、農業に携わる人たちの組織や暮らし、地域社会に影響を及ぼしてきたかも、農業の歴史を考える上で重要な視点となります。これらは、農業システムの一部として検討します。



● 今後の目標・抱負

現在では、都市と農村での生活の差がなくなっています。過去からの遺産を日常生活の中から探すことも困難になっているため、敢えてそこに注目し、今の暮らしがどこから来たのかを考えていきます。また、広島県の農業の変遷を、農業システムの面から明らかにしたいと考えています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

地域の農業や産業などの歴史を遡ることで、地域資源の再確認や地域理解の手がかりを考えます。

● これまでの連携事例・実績



○ どんぐりコロコロ豚：庄原商工会議所，庄原市，しょうばら産学官連携推進機構

○ 県立広島大学市民公開講座「庄原の自然とくらしー庄原学入門：庄原の農業の歴史」（平成23年度）

審議会委員等：広島県環境審議会委員（平成15～25年），三次市男女共同参画推進審議会会長（平成15年～現在），福山市環境審議会委員（平成19年～21年），ひろしまの森づくり事業評価委員会（平成23年），広島県都市計画審議会委員（平成23年～現在），農林水産省中四国農政局国営等事業管理委員会（平成25年）